

# Webユーザインターフェイスを使用したCatalyst 1300スイッチでのDying Gaspの設定

## 目的

この記事の目的は、Webユーザインターフェイス(UI)を使用してCatalyst 1300スイッチでDying Gasp機能を設定することです。

## 適用可能なデバイス | [Software Version]

- Catalyst 1300 | [4.0.0.91\(データシート\)](#)

## 概要

Dying Gaspは、Catalyst 1300シリーズスイッチでのみ使用可能な機能で、接続が失われる前に予期しない停電が発生していることを監視システムに警告するメカニズムを提供します。停電イベントが発生すると、ハードウェアコンデンサがデバイスのシャットダウンを短時間遅らせます。この間、デバイスは設定されたsyslogサーバまたはSNMP通知の受信者を介してDying Gaspメッセージを送信します。これらのメッセージは、問題の原因の特定とトラブルシューティングに使用できます。

Web UIを使用してCatalyst 1300スイッチにDying Gasp機能を設定する準備はできていますか。それでは始めましょう。

## Web UIを使用したDying Gaspの設定

### 手順 1

Catalyst 1300スイッチにログインします。



# Switch

cisco

1

●●●●●

2

English ▾

Log In

3

## 手順 2

Advancedビューを選択します。



C1300-24FP-4X - switch4a8...



admin

English



Advanced

Basic

Advanced

Getting Started

### 手順 3

Status and Statistics > Health and Powerメニューに移動します。



## Status and Statistics

1

System Summary

CPU Utilization

Port Utilization

Interface

Etherlike

GVRP

802.1x EAP

#### 手順 4

Dying gaspは、Syslog、SNMP、またはその両方を使用して設定できます。この例では、Syslogによる設定が選択されています。

### Dying Gasp

Dying Gasp messages are sent using configured [Syslog](#) and [SNMP](#) servers.

Dying Gasp via Syslog:  Enable

Dying Gasp via SNMP:  Enable

Primary Dying Gasp Method:  Syslog

SNMP

#### ”Q8 Note:

両方のオプションを設定する場合は、Primary Dying Gasp方式を設定する必要があります。これは、停電時に最初に使用されるオプションです。

#### 手順 5

[APPLY] をクリックします。ここで、スイッチはログ設定で設定されたSyslogサーバにDying Gasp情報を送信します。

Health and Power

Apply

Cancel

#### 手順 6

ロギング設定を表示するには、Administration > System Log > Remote Log Serversの順に移動します。

▼ Administration 1

System Settings

Console Settings

Stack Management

Bluetooth Settings

User Accounts

Idle Session Timeout

▶ Time Settings

## ステップ7

プラスアイコンをクリックします。

# Remote Log Servers

IPv4 Source Interface:  ▼

IPv6 Source Interface:  ▼

---

## Remote Log Server Table

## 手順 8

Syslogサーバを設定し、Applyをクリックします。

## Add Remote Log Server

X

Server Definition:  By IP address  By name

IP Version:  Version 6  Version 4

IPv6 Address Type:  Link Local  Global

Link Local Interface:

✦ Log Server IP Address/Name:

✦ UDP Port:  (Range: 1 - 65535, Default: 514)

Facility:

Description:

Minimum Severity:

Apply

Close

### 手順 9

SNMPを使用して設定するには、メニューでSNMP > Trap Settingsの順に選択します

。



SNMP

1

Engine ID

Views

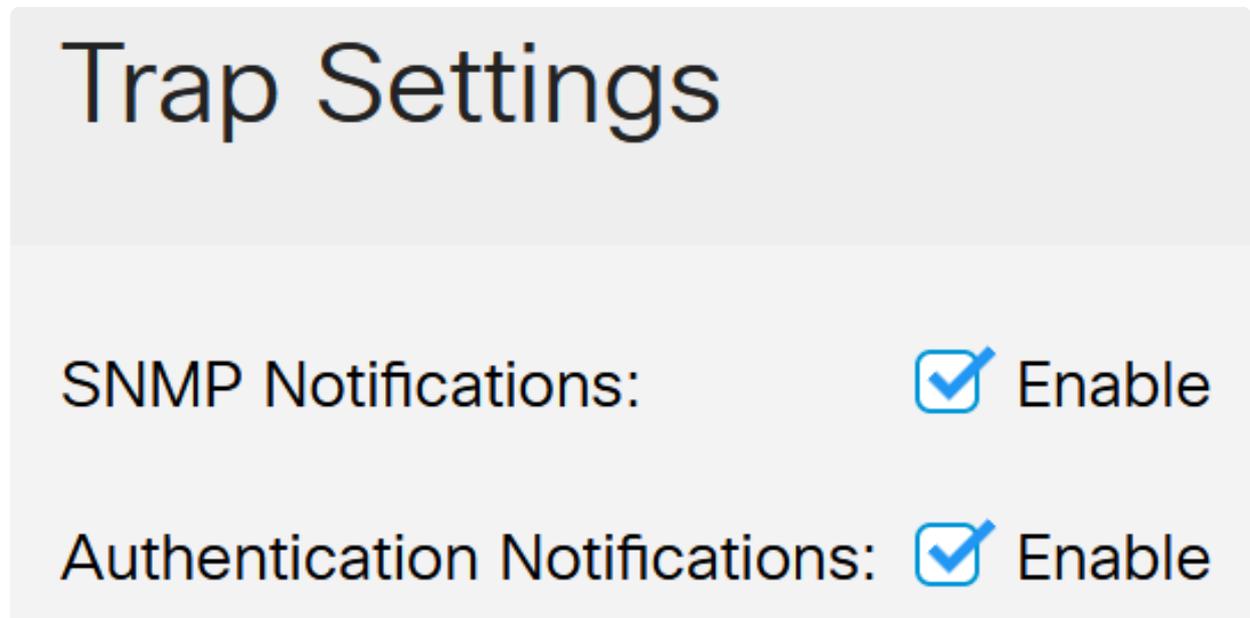
Groups

Users

Communities

## 手順 10

SNMP通知が有効になっていることを確認します。



## 手順 11

通知の受信者を指定するには、SNMP > Notification Recipients SNMPv1,2の順に選択し、SNMPコンソールのIPアドレスを追加するためのフィールドを設定します。

▼ SNMP 1

Engine ID

Views

Groups

Users

Communities

Trap Settings

Notification Recipients  
SNMPv1,2 2

## 手順 12

Saveアイコンをクリックして、設定を保存します。



## 検証

設定が機能していることを確認するには、スイッチのプラグを抜きます。

この例では、Dying Gasp電力損失メッセージをSyslogサーバで確認できます。

Tftpd64

Current Directory: C:\Users\arenli\Desktop\voice\12.0.2\FW

Server interfaces: 12.0.2.1 Software Loopback Interface 1

Tftp Server | Tftp Client | DHCP server | Syslog server | Log viewer

text	from	date
<134>%AAA-I-CONNECT: New http connection f...	172.16.1.22	08/03 13:44:04...
<134>%COPY-I-FILECPY: Files Copy - source UR...	172.16.1.22	08/03 13:46:57...
<133>%COPY-N-TRAP: The copy operation was ...	172.16.1.22	08/03 13:46:58...
<134>%COPY-I-FILECPY: Files Copy - source UR...	172.16.1.22	08/03 13:57:15...
<133>%COPY-N-TRAP: The copy operation was ...	172.16.1.22	08/03 13:57:17...
<129>%DYINGGASP-A-POWER_LOSS: Shutdo...	172.16.1.22	08/03 13:57:36...

## 結論

これで準備は完了です。Catalyst 1300スイッチでDying Gaspを設定すると、デバイスの電力損失の問題について警告を受けることができます。

Catalyst 1300スイッチの詳細については、次のページを参照してください。

- [Cisco Catalyst 1200または1300シリーズスイッチにアップグレードする理由の機能比較](#)
- [Cisco Catalyst 1200および1300シリーズスイッチAt-a-Glance](#)

その他の設定と機能については、『Catalystシリーズ[アドミニストレーションガイド](#)』を参照してください。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。